

2022 年度第 5 回支部集会【関西支部】

2023 年 3 月 18 日(土)13:00-16:00(受付開始 12:30)

Zoomによるオンライン開催

主催:公益社団法人日本語教育学会

参加費:500 円 (マイページ事前参加登録にてお支払いください) 定員:100 名

※ご参加予定の方は、[学会ウェブサイトのマイページ](#) から 3 月 10 日(金)までに事前参加登録(支払含む)をお済ませください。事前参加登録について詳しくは p.4をごらんください。

※事前参加登録をお済ませになるとマイページより予稿集をダウンロードできます。また、事前参加登録者には、開催 1 週間前よりメールにて当日の詳しい参加方法と、ポスター発表資料等を別途ご案内いたします。

◆支部集会日程◆

12:30	受付開始
13:00-13:05	開会のごあいさつ
13:05-13:45	ポスター発表(1 件)
13:55-15:55	ワークショップ 「日本語教育の参照枠についての理解と実践に向けて」
15:55-16:00	閉会のごあいさつ

【13:05-13:45】ポスター発表(1 件)

※本発表は査読審査を経た学会発表です。発表要旨は本プログラム p.3、詳細はマイページよりダウンロードできる予稿集原稿をご覧ください。オンライン開催では 1 週間前からご案内するポスターを各自で事前にご覧いただき、当日のZoomでは発表者と質疑応答をいたします。

「コロナ禍における日本語学校のオンライン授業が学習者に与えた影響」

平田 真理子(日本文化教育学院)

石川 晶子(アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)

福島 奈緒美(長沼スクール東京日本語学校)



【13:55-15:55】 ワークショップ

「日本語教育参照枠についての理解と実践に向けて」

開催趣旨

令和3年度に日本語学習、教授、評価のための枠組みである「日本語教育の参照枠」が策定されました。また、令和4年度より「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業が進められています。今後日本語教育や学習支援の現場で、どのようなパラダイムシフトが起きるでしょうか。「日本語教育の参照枠」の言語教育観はCEFRにおける行動中心アプローチの影響を受けています。本ワークショップでは、参照枠の策定経緯を再確認し、「言語の使用者や学習者がそれぞれの社会で求められる課題遂行能力を育成する」*という行動中心アプローチの教育目標に向け、教師・支援者に求められる役割は何か考えます。本ワークショップが、「日本語教育の参照枠」への理解を深め、実践を振り返るきっかけになることを期待しています。*(「日本語教育の参照枠」の活用のための手引 より)

講師及び題目

松井 孝浩氏(文化庁国語課)

『日本語教育の参照枠』策定の経緯及び今後の方針」

奥村 三菜子氏(NPO 法人 YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち)

「社会的存在と行動中心アプローチの視点から教育実践を捉え直す」

事前資料

・[「日本語教育の参照枠」報告](#)

・[「日本語教育の参照枠」の活用のための手引](#)

事前質問

講師への事前質問があれば、[こちら](#)からお送りください(3月10日締切)。

◆問合先◆公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

TEL:03-3262-4291 FAX:03-5216-7552 E-mail:shibu@nkg.or.jp



[2022 年度第 5 回支部集会(オンライン, 2023.3.18)ポスター発表]

コロナ禍における日本語学校のオンライン授業が学習者に与えた影響

平田真理子・石川晶子・福島奈緒美

コロナ禍により日本語学校でも本格的にオンライン授業が導入されたが、学習環境の大幅な変化に、学習者が受けた物理的及び心理的影響は大きかったはずである。そこで筆者らは、ネパール、ベトナム及び中国の各国出身の 3 名の学生を対象にインタビューを行い SCAT で分析することで、オンライン授業下の学習者の心理状態及び心理面に与えた影響を明らかにすることを試みた。

その結果、明らかになったのは「教室空間の共有欠如」及び「オンライン授業の持つ閉鎖性」である。前者は、教師及び学習仲間が同じ空間にいないことがやがて学習者自身の意欲低下につながることで、また後者は、オンライン授業下で実感が得られない授業への不満を生んだということである。学生の発言から、オンライン授業ならではの自律学習能力の養成の必要性もうかがえた。

コロナ収束後を見据えて、本発表がより学習効果の高いオンライン授業の仕組み作りの一助となることを期待したい。

(平田一日本文化教育学院, 石川一アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター,
福島一長沼スクール 東京日本語学校)



本イベントへのご参加には事前登録が必要です。日本語教育学会会員以外の方(非会員)も、お気軽にご参加ください。はじめての方は、事前登録に先立ち、ユーザ登録をお願いします。(会員の方は下記5へお進みください。)

図1 「マイページ」ログイン画面

□新規ユーザ登録の流れ

1. 以下の URL から、日本語教育学会の「マイページ」のログイン画面(図 1)にアクセスします。はじめてアクセスする方は「新規ユーザ登録」をクリックしてください。
<https://m4.members-support.jp/NKG/>



2. 利用規約の確認画面(図 2)の利用規約とプライバシー規約を読み、同意頂けましたら、ページ下部のチェックボックスにチェックを入れ、「同意する」をクリックしてください。

図2 利用規約の確認画面

3. 次のページに移動したら、ユーザ情報を入力してください。入力が完了したら、認定法第 6 条の不認定者に該当しないことをご確認ください。問題がなければ、チェックボックスにチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。次の画面でもう一度「次へ」ボタンをクリックしてください。

図3 仮登録完了画面

4. 図 3 の画面が表示されると、仮登録の完了です。2 営業日後に、承認結果をご登録のメールアドレスにお送りします。メールに記載されている URL をクリックすると、本登録が完了します。

5. マイページにログイン後、画面左の「メニュー」から「イベント情報」の「イベント申込」をクリックすると、現在受付中のイベントが表示されます。青い「受付中」のボタンをクリックすると、参加申し込み手続きに進みます。

※ユーザ登録に関してご不明の点がありましたら、マイページの「スタートアップガイド」URL <https://m4.members-support.jp/NKG/moss/Downloads/display/startupguide> をご参照ください。

